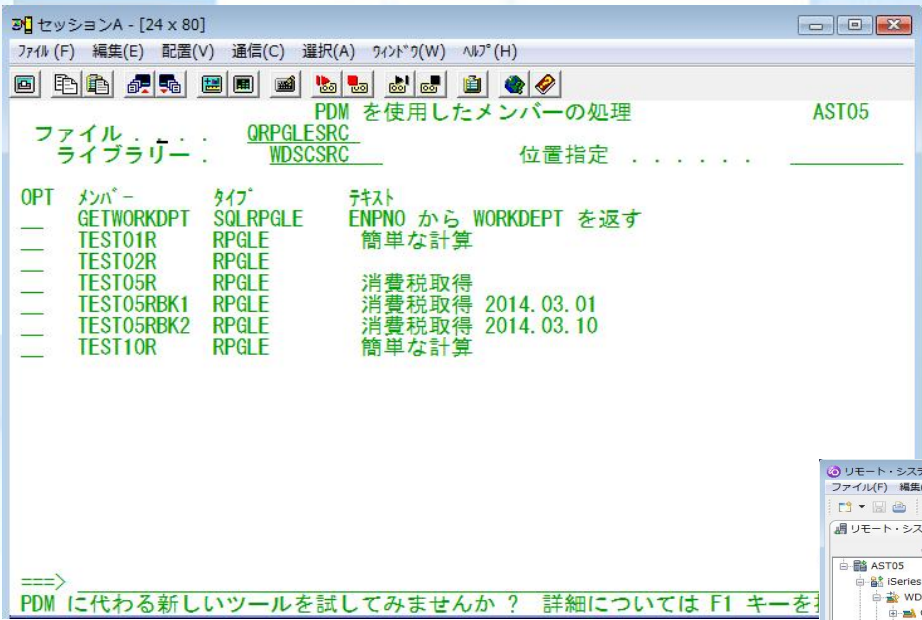


追加の投資なしでEclipseを使った開発が出来ます！



リモートシステムエクスプローラ固有の機能

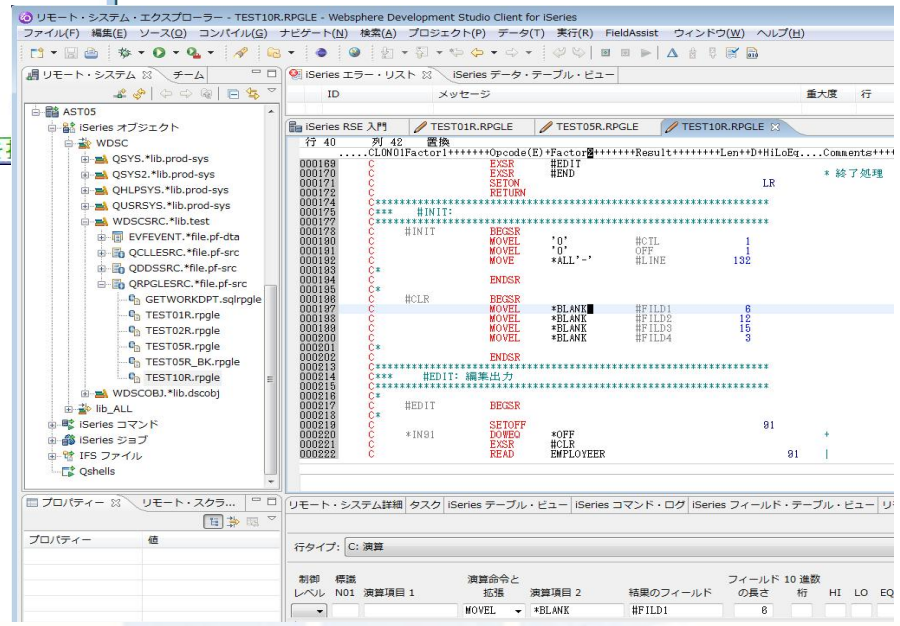
- 行単位の構文チェック
- F4でプロンプト表示
- 開発を支援するコンテンツアシスト
- コンパイル結果の即時確認
- Eclipse準拠のデバッグ機能
- AS400間のソース受渡し(コピー&ペースト可能)
(オブジェクトの受渡しは出来ません。SAVFは可能です)
- Subversion等のバージョン管理と連携も可能！



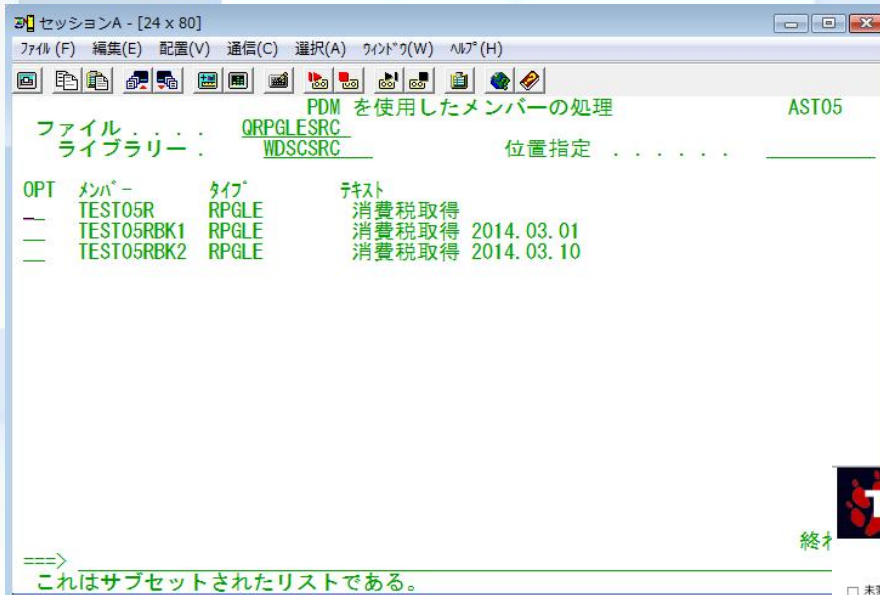
↑

PDMに代わる新しいツールを試してみませんか？ 詳細については F1 キーを

それが「WebSphere Development Studio Client for i」です。
 ※最新版のRational Developer for i V9.0は有償のプロダクトです。
 Eclipseを使うと、SEUとは違う操作で開発が可能になります。



プログラムソースのバージョン管理を始めませんか。



- WDC For iを使用するとソースがテキスト化されます。
- Subversion等のバージョン管理ソフトが利用可能になります。
- Tracを利用したバグトラッキング等の仕組みと連携可能です。
- ソースの復活が可能です。
- 誰が、いつ、どの案件でプログラムを改修したかが一目瞭然。
- 他の開発環境と同一化できます。

詳しくは、<http://www.as-t.co.jp/tips/> にて！



Trac Lightning

ast48
My example project



こんな悩みはありませんか

- 改修前のソースが増えすぎて困ってしまう。
- ソース名を属人的に振るのでどれが必要なのか分からない。
- 改修した際のコメントが増えすぎてしまう。
- どの案件で誰がどの部分を改修したかが分かりにくい。
- もう使わないプログラムだけ、ソースを消すのは怖い。

□ 未変更 □ 追加 □ 削除

trunc/QRPGLSRC/TEST01R.RPGLE									
r13	r28								
2	2	000200140401	**	PROGRAM CODE	:	TEST01R			
3	3	000300140414	**	PROGRAM NAME	:	簡単な計算をします。			
4		000400140414	**	GENERAL DESCRIPTION	:	更新履歴はここに書きます。			
4		000400140519	**	GENERAL DESCRIPTION	:	加算から乗算へ変更します。			
5	5	000500140401	**	INFORMATION	:				
6	6	000600901218		*****					
7		000700140401	**	CREATION DATE	:	14/04/01			
8		000800140414	**	PROGRAMMER NAME	:	AST XXXXXX			
9		000900901218	**	EXTERNAL SUBROUTINE	:				
	7	000700140519	**	CREATION DATE	:	14/05/19			
	8	000800140519	**	PROGRAMMER NAME	:	AST maeda			
	9	000900140519	**	EXTERNAL SUBROUTINE	:				
10	10	001000020212	**	CHANGE HISTORY	:				
11	11	001100901218		*****					
...	...								
15	15	001500140425	C	Z-ADD	2000	W#FLD1		9	0
16	16	001600140424	C	Z-ADD	6000	W#FLD2		9	0
17		001700140401	C	W#FLD1	ADD	W#FLD2	W#FLD3	9	0
	17	001700140519	C	W#FLD1	MULT	W#FLD2	W#FLD3	9	0
18	18	001800140401	C	W#FLD3	DSPLY				
19	19	001900140401	C		RETURN				